

かなざきひさの町政報告

www.kanazaki-hisa.com



御挨拶

皆さまの応援を得て、5期20年の最終年となりました。

4月に改選でございますので、はじめとして、5期20年の活動報告をいたします。

まだまだ体力と気力に自信がございますので、これからも皆さまの代弁者として活動していく所存でございます。

皆さま方にはこれからも、葉山のまちづくりに御提言、御意見をいただけたら幸いです。

かなざき ひさ

5期20年の活動報告

何のための請願か？何のための採択か？疑問からのスタート。

議員は町民の代弁者である、との姿勢を貫いてきました。

それは、20数年前、障害を持つ子の親の団体として、議会に対し請願を出したことがありましたが、採択はされたけれど、状況は全く変わらないという経験をしたことがあります。何のための請願か？何のための採択か？疑問からの立候補でした。

以来、まず議員として始めたことは、かつての採択された陳情・請願の洗い出し、実現状況の把握。そして、未解決のものに対しての、実現に向けての徹底した追及、しつこいまでの質問の連続。それにより、一つひとつ解決をして、議会は決して棚上げしないという姿勢を確立しました。

平成25年議長就任時に行政に対し、採択した陳情・請願の実現状況を定例会毎に報告することを義務付けました。

公聴の役目を担う議会広報常任委員会の委員長として、今まで年1回でしたが、回数を増やし、多くの団体の方々と話し合いをする機会を持ち、議会を活性化しました。

町民の方々との意見交換は大切です。かなざきひさは会派として出前フォーラムを開催しています。64回終了し、今後任期中に2回開催予定です。支持者を集めての町政報告会ではなく、広く広報して、どなたでも葉山町に関するご意見のある方々に参加していただき、ご要望を伺っています。そして、それらの意見を参考にして、議会で発言しております。

参加者の意見が議会の意見となり、行政を動かした事例は数多くあります。1人の人の考えがまちづくりを変える。そのことが町民全体の福祉向上につながる。その橋渡しをするのが、かなざきひさの使命と思って議員活動を続けてきました。

金崎ひさが取り組んできたこと

- ・タクシー券交付事業…陳情の洗い出しから民意を知り、実現させ、その後、数度にわたって改善を提言し、使い勝手の良いものとなっています。
- ・学童クラブの増設…採択された陳情が棚上げ状態でしたが、一色小学校区に増設できました。
- ・JR逗子駅のバリアフリー化…始めは下りの1番線乗り入れの増便でした。
- ・放置ボート対策…会派として県へ陳情を出し、解決しました。
- ・青少年会館の建て替え…老朽化のため取り壊すという町長に待ったをかけ、今の姿への建て替えとなりました。
- ・渋滞緩和…葉山大道・新逗子駅前など渋滞緩和のため、青信号の時間操作をお願いしました。
- ・避難所の耐震化…避難所となる各小中学校体育館の耐震化を指摘しました。
- ・一泊二日の避難訓練…平成15年から提案を続け、実現したものです。
- ・ごみ問題…資源物の分別収集などさまざまな改善をしてきました。今後も高齢化社会に対応するための提案はまだまだ続きます。

皆さまのお役に立ち、葉山町を住み良い町にすることに喜びを感じています。

皆さまの想いの実現のために20年間の経験を活かし、

すばやくぬかりのない対応ができます。一緒にまちづくりをいたしましょう！



葉山町議会平成30年第4回定例会(11月30日~12月13日)開催

○ 認可保育園の開園を求める請願

市街化調整区域に保育園の建設計画があります。しかし、県からは市街化調整区域という理由でなかなか許可が下りません。そこで、市街化調整区域の上山口に住んでいる私が代表となり全議員の賛同を得て、請願議員となりました。県関係者に聞いていただくため、心を込めた賛成討論の後、採択し、県に要望書を上げております。今後も成り行きを見続けます。



○ かなざきひさの一般質問

1 協働について

まちづくりの基本である「協働」の概念に、町長とのずれを感じていますので、再度質問をしました。

質問	答 弁
町長の考える「協働」とは。	行政と民間が力を合わせて事業目的を達成すること。(町長)
「協働」とはその事業目的と一緒に考えることであり、それが葉山のまちづくりの指針となるべきである。町長はどのような町にしたいのか、指針を伺う。	町民の方が休日に町内で楽しめるようにすること。そして、町外の方には、いつかは葉山に住みたいと思ってもらえること。
葉山町総合計画では「協働によるまちづくり」が大きなテーマだ。その方策を伺う。	8段階の協働のはしごがあり、1～4までは単なる情報提供。5段階から意見をいただいて共に考える。6段階目は共に働く。7～8は仕事を渡してやっていただく。(町長)
良い意見が町民から出た場合、締め付けとなっている条例等を改正してその意見に添う気持ちはあるのか。	原則的にはそのようなことは十分できると思う。(町長)
協働推進系の役割は。	町内会・自治会とのつなぎ役。4人で対応している

かなざきひさの考え

これから公共施設の統廃合などの問題があり、町民との協働なくしては、まちづくりは成り立たないと思います。行政ができないことを民間でやっていただくことが「協働」であると考えている町長には、引き続き質問をし、まちづくりの指針を決定する際の町民とのかかわりが「協働」の重要なポイントであることを示し、個別具体的な事例についての方策を聞きたいと思います。

